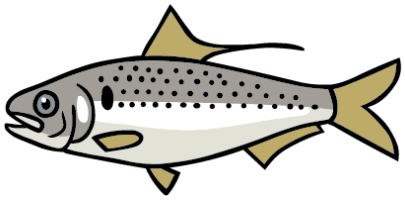
千葉県　沿岸重要水産資源　令和５年度資源評価

コノシロ（東京湾）



- 漁獲のほとんどが東京湾で，中・小型まき網などで漁獲される。
- 産卵期は 4～7 月で，産卵場は当初は東京湾の湾口部に形成され，次第に湾奥へ広がる。

資源評価

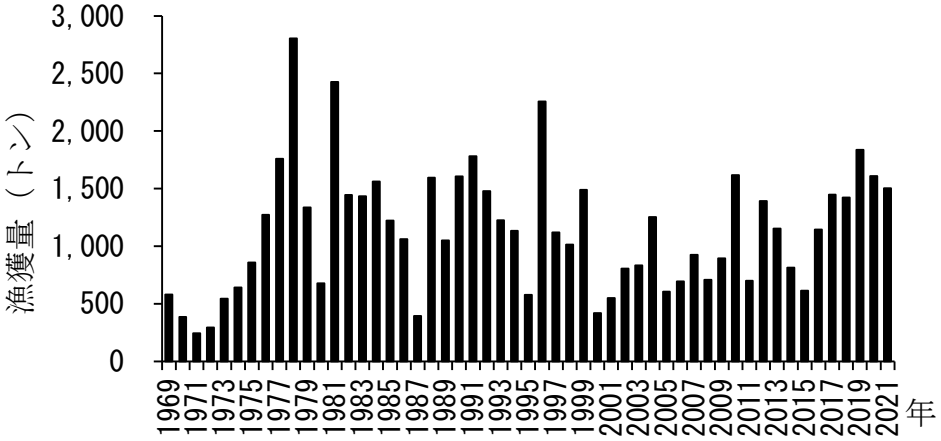
水準：高位

◎

動向：増加

漁獲量

- 漁獲量の年変動が大きく，1978 年に 2,805 トンを記録したが，その後，増減を繰り返し，2015 年には 615 トンとなった。
- その後，増加傾向となり，2021 年の漁獲量は 1,502 トンであった。

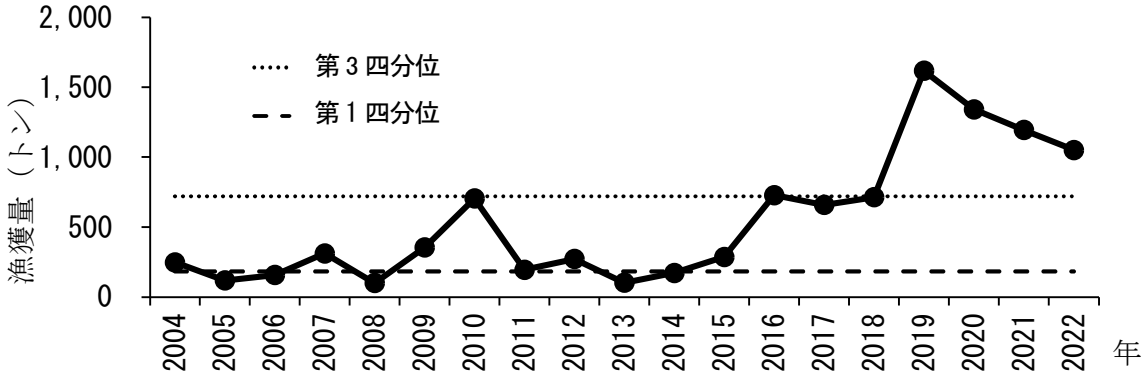


コノシロ漁獲量の経年変化
（千葉農林水産統計年報，漁業・養殖業生産統計）

注）　資源水準は、原則過去 20 年以上の評価指標値（漁獲量）から 4 分位により評価した。
　　資源動向は、最近 5 年間の評価指標の近似式から年間 5%以上の増減の有無により判断した。

資源評価の判断

- 資源水準及び動向は，東京湾Ａ漁協における中・小型まき網の漁獲量で判断した。
- 2022 年の資源水準は過去 20 年間で高位，最近 5 年間の資源動向は増加傾向にある。



東京湾Ａ漁協における中･小型まき網のコノシロ漁獲量の経年変化

資源管理の取り組み

- 東京湾においては，小型機船底びき網で休漁日の設定，操業時間の制限，漁具の制限など，中・小型まき網で冬期の休漁期間の設定など，コノシロ以外の魚種も含めて漁業者による自主的な資源管理が行われている。